

公立大学法人 京都市立芸術大学（学長：鷲田清一）は、2016年9月10日（土）から9月19日（月・祝）まで、京都市立芸術大学ギャラリー@KCUAにて、東日本大震災復興支援・芸術活動支援チャリティーオークション「サイレントアクト 2016」を開催します。

平面だけでなく、立体作品も！ 毎年好評の匿名型チャリティーオークション 気に入った作品を入札してアートと被災地を支援しよう！

チャリティーオークション「SILENT @KCUA（サイレントアクト）」は、東日本大震災の復興に関わる活動をしている団体等を広く支援することを目的として、2011年より10年間の継続を目標として実施しています。本年度は、熊本地震の復興に関わる活動を行う団体も対象として、災害復興を支援いたします。本オークションでは、本学の学部生、院生、留学生、教員（非常勤含む）、旧教員、卒業生、修了生が作家名を伏せた匿名で、新作をギャラリー会場とウェブサイト上で公開。観客はサイレント方式（*）で入札を行います。オークション収益は総額から運営経費分を差し引いた7割を被災地にて芸術を通じたボランティア活動、支援活動を行っている団体への活動資金として、また3割を京都市立芸術大学に在籍する学生の芸術活動の支援金（留学支援・奨学金）として寄付します。昨年からは平面だけでなく立体作品も加わり、より多様な表現をご覧いただけます。ぜひご期待ください！

*好きな価格（3,000円から）を入札者が決め、入札用紙に記入して入札する方式で、入札額は一般に公開されません。すべての入札者のなかで最高金額を付けた1名が落札の権利を手にします。



サイレントアクト 2015の様子

サイレントアクトの魅力

1. 国内外で活躍するベテランから気鋭の若手・学生まで、今年の出展総数は350点以上！

上村淳之、木村英輝、鶴田憲次、鷲田清一、秋山陽、植松永次、石原友明、高橋悟など京都市立芸術大学ゆかりのベテランから、金田勝一、谷澤紗和子、谷原菜摘子、とんぼせんせい、増田佳江、水田寛ら中堅・気鋭の若手まで幅広い年代の表現者が揃います。

2. 人気の小立体作品

昨年より加わった立体作品ジャンル。絵画、イラストレーション、書、版画などの平面表現のみならず、彫刻、陶芸、工芸も出品されます。

3. 最低落札価格は3,000円。その後は1円から気軽に入札可能

美術作品を買ったことがない人でも、気軽に入札ができる価格からスタートします。家に美術作品を飾ったり、買う事で支援する楽しみに誰でもチャレンジすることができます。

■ 入札方法

入札方法は下記の3つの方法で受け付けます。
入札受付は、会場・ウェブサイトともに9月19日(月・祝)19:00まで
(最低入札価格は3,000円・以後1円単位で自由に入札価格をご設定いただけます)

【会場から】

展示会場にて専用入札用紙に記入の上、提出してください。

【専用WEBページから】

専用ページから入札してください。画像を選択し、入札ボタンを押すと入札の手続きが始まります。

専用WEBページ <http://www.kcua.ac.jp/silent/>

【FAXから】

専用の入札用紙に記入の上下記の番号へ送信してください。

FAX: 075-253-1510

専用用紙は、会場で配布するほか、こちらからもダウンロードできます。

■ カタログ

オークション後には全出品作品を紹介するカタログを発行予定です。
寄付先の活動報告、ならびに全出品作品を作家名・タイトルとともに掲載予定です。
※カタログご希望の方は、
京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA までお問い合わせください。

■ 開催概要

展覧会名称：災害復興支援・芸術活動支援
チャリティーオークション
「サイレントアクトア 2016」

主催：京都市立芸術大学サイレントアクトア実行委員会

後援：京都市、京都市教育委員会、
京都市立芸術大学美術学部同窓会、
京都市立芸術大学美術教育研究会

会場：京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA
住所／京都市中京区押油小路町238-1

会期：2016年9月10日(土) - 9月19日(月・祝)
11:00 ~ 19:00 (最終入場 18:30 まで)
会期中無休

入場：無料

お問い合わせ：京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA

Tel: 075-253-1509 E-mail: galler@kcua.ac.jp

公式サイト：<http://galler.kcua.ac.jp>

特設サイト：<http://www.kcua.ac.jp/silent/>

■ サイレントアクトア 2014 寄付団体活動報告



一般社団法人テキスタイルデザイン協会 東北支援

『若いクリエイターと東北の手仕事をつなぐプロジェクト』

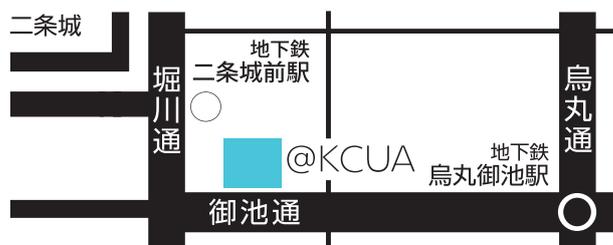
ミシンの縫製業で生きがい支援・自立支援を行っている被災地の南三陸ミシン工房に、若いクリエイターが縫製等の仕事を依頼・発注をすることで、現地に根づく手仕事や地域の染織技術の特色を考察し、共同制作による交流を深めるプロジェクトとして実施しました。京都市立芸術大学の教員、学生、京都市立芸術大学OBのファッションデザイナーが、打合せ・現地取材・仮設住宅訪問・交流などを経て、オリジナルのテキスタイルデザインを制作し、南三陸ミシン工房に提案を行いました。京都市立芸術大学4回生渡辺さちと宇都宮里のデザインが選出され、2016年1月には製品化されたテキスタイル布地が出来上がる予定です。



あいちまちなかアートプロジェクト 2014

会津の文化資源である「漆」をテーマとした「会津・漆の芸術祭」と、会津が誇るアーティストの優れた芸術作品等を展示する「まちなかピナコテカ」を融合した文化振興イベントとしてスタートした「あいちまちなかアートプロジェクト」は、生活の場であるまちなかを舞台として、豊かな感性を育み、あらゆる年代の方々が気軽に芸術作品に触れる機会を創り出すために2013年から開催。京都市立芸術大学の学生と教員も展示に参加しています。七日町通り、野口英世青春通りを中心とした会津若松市内各所の会場を舞台にアート作品の展示やワークショップ、意見交換会などのイベントが行われ、会期中は36,000人(2014.10.4 ~ 2014.11.3)以上の来場者が訪れました。

※寄付先団体報告より一部抜粋して紹介



■ プレス向け画像貸出について

本プレスリリースに掲載している画像はメディア掲載時にご利用いただけます。

ご希望の方は広報担当(西谷)までお問い合わせください。